

網膜硝子体手術の治療成績の研究

過去に当科で網膜硝子体手術を受けられた患者さまおよび今後網膜硝子体手術を受けられる患者さまを対象に現在臨床研究を行っています。過去に当科で網膜硝子体手術を受けられた方にこの観察研究の詳細をお知らせするため、ホームページ上でお知らせしています(URL : <http://ganka.w3.kanazawa-u.ac.jp/>)。なお、本研究課題は、金沢大学医学倫理審査委員会の承認を得て行っています。

【研究協力の不参加の自由について】

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんにご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。もし参加を中止しても、これからの治療に差し支えることは全くありません。

<研究不参加の窓口>

金沢大学附属病院 眼科

住所：石川県金沢市宝町 13-1 、電話：076-265-2403

宇田川さち子（視能訓練士）

【課題名、研究期間について】

課題名：網膜硝子体手術の治療成績の研究

研究期間：金沢大学医学倫理審査委員会の承認日から 2028 年 3 月 31 日まで

【研究の目的について】

近年網膜硝子体手術は飛躍的に進歩し、さまざまな網膜硝子体疾患に対して良好な手術成績がえられるようになってきました。特に硝子体切除術では、器具の細径化、カッターの高速化・高能率化、眼内照明・観察系の進歩などにより、手術がより安全に簡便に行えるようになってきました。しかし、手術器具や手術操作などの変更が本当に有用なものであるかどうかは、多数例で検討する必要があります。本研究では、これまでに本院に受診し加療した、あるいは今後も受診が見込まれる網膜硝子体手術症例において、その治療成績を把握し、予後に関連する因子を解析することによってよりよい網膜硝子体手術治療の確立を目指すことを目的とした後ろ向き観察研究です。症例数の多い当科での治療成績を検討することは、よりよい手術治療の確立を目指す上で重要であり、治療水準向上に繋がると考えられます。

【提供する試料・情報について】

眼科検査データ：視力、屈折、角膜曲率、眼軸長、眼圧、M チャート（歪視の定量）、視野

画像検査：前眼部写真、眼底写真、光干渉断層計

採血、尿検査のデータ：保険適用内のもの

【プライバシーの保護について】

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。